

IV 部門別対策

6 飼料用イネ

(1) 燃料の低減

ア 立毛乾燥

飼料用米の生産では、成熟期到達後に収穫を遅らせることで籾の水分が低下するため、乾燥機の燃料コストを低減することができる。ただし、成熟期からの日数経過により病害による茎葉の枯れ上がりや穂の折損が進み、収穫ロスが多くなることから、成熟期後1週間程度を限度に収穫することが望ましい。

立毛乾燥の条件としては、下記が挙げられる。

- ・好天が続くことが予想される
- ・耐倒伏性が高い品種
- ・脱粒性が「難」な品種

詳細は「飼料用イネの栽培技術（改訂版）」を参照のこと。

※飼料用イネの栽培技術（改訂版）（平成29年度技術指導資料）

<https://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/seikafukyu/shiryou-ine.html>

(2) 肥料の低減

ア 家畜ふん堆肥の利用

飼料用イネの栽培では、主食用品種より多肥条件で栽培する。家畜ふん堆肥を施用することによりりん酸及び加里成分は堆肥から供給されるので、安価な窒素単肥のみの施用でよく、肥料の削減になる。また、家畜ふん堆肥の肥効は多収品種が必要とする生育期間全般にわたっての肥効の持続に適合し、多収を得るために有利である。

一方で、過剰な投入は倒伏の危険もあることから、千葉県施肥設計支援システム「エコFIT」などを使用し、適正な施用量に留意されたい。

詳細は「飼料用イネの栽培技術（改訂版）」を参照のこと。

※千葉県施肥設計支援システム「エコFIT」の開発（平成18年度技術指導資料）

https://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/shikenkenkyuu/documents/29_3.pdf

※飼料用イネの栽培技術（改訂版）（平成29年度技術指導資料）

<https://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/seikafukyu/shiryou-ine.html>